

Q1

歩行中の交通事故死者・重傷者数（2014～2018年の合計）を月別にみると、最も多いのは12月ですが、小学生に限った場合、最も多いのは何月でしょう？

- ① 4月 ② 5月 ③ 10月

Q2

小学生の歩行中の交通事故死者・重傷者数（2014～2018年の合計）を時間帯別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

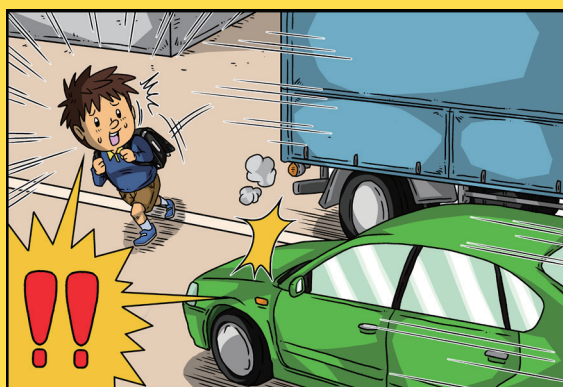
- ① 7時台 ② 16時台 ③ 17時台

Q3

小学生の歩行中（第1・第2当事者※）の法令違反別交通事故死者・重傷者数（2014～2018年の合計）をみると、最も多い違反は「飛び出し」ですが、次に多い違反は次のうちどれでしょう？

- ① 横断違反（横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断等）
② 信号無視 ③ 路上遊戯

※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽い、過失が同程度の場合は被害がより大きい方の当事者。



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

SJ クイズ ?

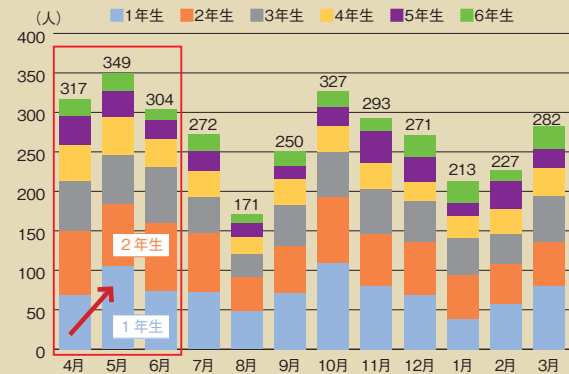
[解答・解説編]

Q 1 解答 ② 5月

<解説>

小学生の歩行中の交通事故死者・重傷者数を月別にみると、最も多いのは5月となっており、1年生と2年生で半数以上を占めている。特に1年生は、学校生活に慣れて気が緩みやすい時期といえる。交通ルールを身につけ、安全に道路を歩けるようになるためには、小学校入学直後だけでなく、それ以降も家庭や学校で繰り返し交通安全教育を行っていくことが大切である。

●小学生の歩行中の月別交通事故死者・重傷者数 (2014～2018年の合計)

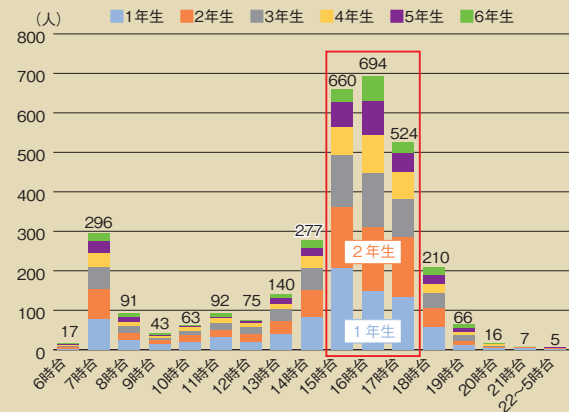


Q 2 解答 ② 16時台

<解説>

小学生の歩行中の交通事故死者・重傷者数を時間帯別にみると、最も多いのは16時台で、次に15時台、17時台と続き、下校時間帯に集中している。下校時は登校時と異なり、子どもが単独で歩くことが多くなる。事故防止のためには、通学路や公園など子どもの行動範囲を一緒に歩きながら子どもの視点に立って危険箇所や安全な渡り方などを確認することが大切である。ドライバー・ライダーは下校時間帯に歩いている子どもを見かけたら、その動きには十分に注意しなければならない。

●小学生の歩行中の時間帯別交通事故死者・重傷者数 (2014～2018年の合計)



Q 3 解答 ① 横断違反

<解説>

小学生の歩行中の法令違反別交通事故死者・重傷者数をみると、「飛び出し」(38.9%)の次に多いのは横断歩道外横断や走行車両の直前直後横断等の「横断違反」(17.6%)である。近くに横断歩道のある時は必ず横断歩道を利用することはもちろん、クルマの直前直後の横断は左右の見通しが悪いため、危険であることを子どもに理解してもらう必要がある。そして、道路を横断する際は、必ず止まって右、左、右をみて、クルマが来ていないことを確認することを指導してほしい。また、ドライバー・ライダーは横断歩道以外を渡ったり、車両の直前直後を横断する歩行者がいることを常に予測した運転を心がけてほしい。

※文中のデータやグラフの出典はすべて警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

